

第 133 回

令和8年7月～9月期

中空知管内景況レポート

令和8年10月発刊

特別調査「中小企業における生成AIの利活用について」



ふれあいを大切にする

北門信用金庫

第133回 北 門 しんきん 中空知管内中小企業景気動向調査

北門信金では、中空知管内の中小企業の景気動向を把握するため、滝川・砂川・芦別・赤平・歌志内・奈井江・上砂川・浦臼・新十津川の各市町に所在する企業のご協力をいただき、地域企業景気動向調査を実施しております。

この調査は、毎年四半期ごとに実施しておりますが、今回は令和8年7月～9月期の業況実績と令和8年10月～12月期の業況見通しについて調査した結果をとりまとめたものです。

なお、今回は特別調査「中小企業における生成AIの利活用について」を実施しております。

令和8年10月

北門信用金庫 総務部(広報)

滝川市栄町3丁目3番4号
TEL (0125)22-1185(直通)

調査要領

1. 調査時点 令和8年9月
2. 調査対象期間 令和8年 7月 ～ 9月実績
令和8年10月 ～ 12月見通し
3. 調査企業 当金庫のお取引先企業

製造業	18 社	建設業	38 社
卸売業	7 社	運輸業	9 社
小売業	26 社	不動産業	3 社
サービス業	16 社	計	117 社

4. 調査方法 当金庫職員による面接聞き取り法
5. 分析方法 DI判断指数を中心に分析

DI=Diffusion Index

DI判断指数

各質問項目で「増加」(上昇)したとする企業数の全体に占める
構成比と「減少」(下降)したとする企業数の構成比との差

※「%」表示は、小数第二位を四捨五入しております。

中空知の景気動向 (令和8年7～9月期)

調査企業 117社
回答企業 116社
回答率 99.1%

業況は若干の改善、10～12月期は横這いを予想

今期の実績 (令和8年7～9月期)

業況判断DIは▲9となり前期比14ポイント改善、前年同期比は8ポイント改善しました。
売上額判断DIは25となり前期比31ポイント改善、収益判断DIが9となり前期比27ポイント改善しました。
また、販売価格判断DIは33となり前期比6ポイント低下、仕入価格判断DIが60となり前期比20ポイント低下しました。
業種別では、製造業・小売業・運輸業・不動産業が改善、卸売業・サービス業・建設業が横ばいとなりました。

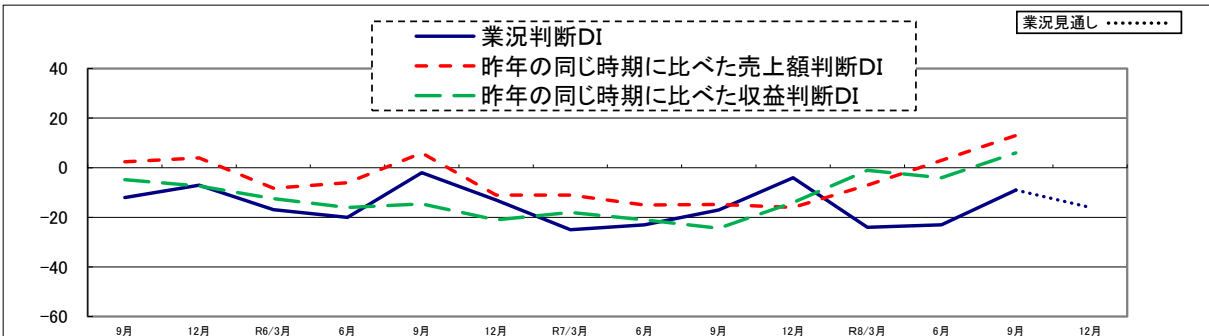
来期の見通し (令和8年10～12月期)

業況判断の見通しDIは▲16となり今期実績比7ポイント悪化する見通しです。
売上額判断見通しDIは▲7となり今期実績比32ポイント悪化、収益判断見通しDIが▲10となり今期実績比19ポイント悪化する予想です。
また、販売価格判断見通しDIは20となり今期実績比13ポイント低下、仕入価格判断見通しDIが51となり今期実績比9ポイント低下する予想です。
業種別では、卸売業・運輸業が改善、製造業・小売業・不動産業は悪化となる見込みです。

DI値

	R7/7～9月 前年同期	R7/10～12月	R8/1～3月	R8/4～6月 前期実績	R8/7～9月 今期実績	前期比	前年同期比	R8/10～12月 来期見通し	今期比
業況	▲17	▲4	▲24	▲23	▲9	14	8	▲16	▲7
売上額	12	10	▲33	▲6	25	31	13	▲7	▲32
収益	3	6	▲30	▲18	9	27	6	▲10	▲19
販売価格	22	19	12	39	33	▲6	11	20	▲13
仕入価格	49	47	34	80	60	▲20	11	51	▲9
在庫	1	2	0	▲10	9	19	8	6	▲3
資金繰り	▲5	▲10	▲4	▲6	▲12	▲6	▲7	▲15	▲3
残業時間	▲6	▲3	▲7	▲11	▲3	8	3	▲4	▲1
人手	▲48	▲49	▲31	▲40	▲43	▲3	5	▲48	▲5
現在設備	▲12	▲14	▲12	▲14	▲19	▲5	▲7	▲18	1

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向

※複数回答(不動産業除く)

設備投資実績内訳(8年7～9月)

事業用土地・建物	2 件
機械設備の新・増設	15 件
機械・設備の更改	10 件
事務機器	3 件
車両	13 件
その他	4 件

設備投資計画内訳(8年10～12月)

事業用土地・建物	1 件
機械設備の新・増設	10 件
機械・設備の更改	13 件
事務機器	1 件
車両	4 件
その他	2 件

今期(8年7～9月)は、50社(43.1%)が設備投資を実施しており前年同期比で19社上回りました。
来期(8年10～12月)に設備投資を計画している企業は41社(35.3%)となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位)

※複数回答

経営上の問題点

1位	原材料・材料価格の高騰	48 社
2位	売上の停滞・減少	46 社
2位	人手不足	46 社

当面の重点経営施策

1位	経費を節減する	69 社
2位	人材を確保する	52 社
3位	販路を広げる	26 社

製造業

(令和8年7～9月期)

調査企業 18社
回答企業 18社
回答率 100%

業況は若干の改善、10～12月期は悪化を予想

今期の実績 (令和8年7～9月期)

業況判断DIは0となり前期比6ポイント改善、前年同期比22ポイント改善しました。
売上額判断DIは28となり前期比34ポイント改善、収益判断DIが11となり前期比17ポイント改善しました。
また、販売価格判断DIは33となり前期比11ポイント上昇、原材料価格判断DIが67となり前期比11ポイント上昇しました。

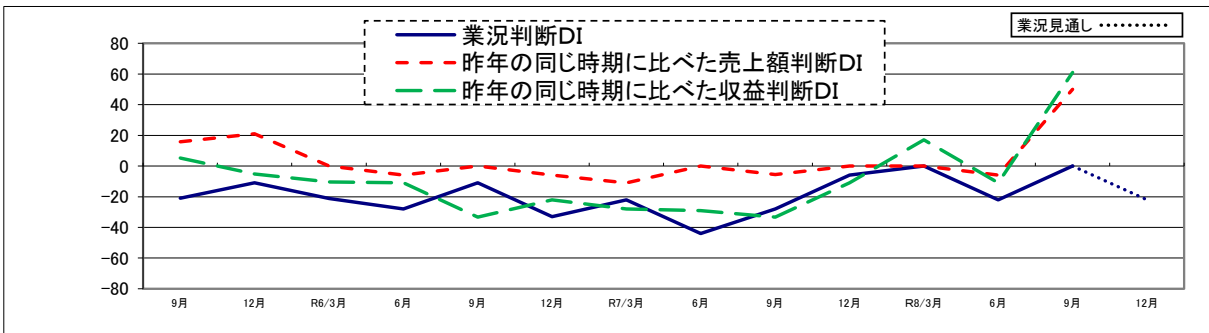
来期の見通し(令和8年10～12月期)

業況判断の見通しDIは▲22となり、今期実績比22ポイント悪化する見通しです。
売上額判断見通しDIは▲6となり今期実績比34ポイント悪化、収益判断見通しDIが▲6となり今期実績比17ポイント悪化する予想です。
また、販売価格判断見通しDIは22となり今期実績比11ポイント低下、原材料価格判断見通しDIが56となり今期実績比11ポイント低下する見込みです。

DI値

	R7/7～9月 前年同期	R7/10～12月	R8/1～3月	R8/4～6月 前期実績	R8/7～9月 今期実績	前期比	前年同期比	R8/10～12月 来期見通し	今期比
業況	▲22	▲44	▲28	▲6	0	6	22	▲22	▲22
売上額	▲22	0	▲6	▲6	28	34	50	▲6	▲34
受注残	▲17	▲11	▲6	▲11	0	11	17	▲17	▲17
収益	▲50	0	▲17	▲6	11	17	61	▲6	▲17
販売価格	22	22	11	22	33	11	11	22	▲11
原材料価格	50	33	33	56	67	11	17	56	▲11
原材料在庫	11	▲6	6	6	11	5	0	11	0
資金繰り	▲11	▲33	▲11	▲11	▲17	▲6	▲6	▲17	0
残業時間	▲6	▲11	▲17	0	▲6	▲6	0	0	6
人手	▲17	▲39	▲28	▲61	▲29	32	▲12	▲29	0
現在設備	▲11	▲6	▲6	▲11	▲17	▲6	▲6	▲11	6

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向

※複数回答

設備投資実績内訳(8年7～9月)

事業用土地・建物	0 件
機械設備の新・増設	4 件
機械・設備の更改	4 件
事務機器	0 件
車両	0 件
その他	0 件

設備投資計画内訳(8年10～12月)

事業用土地・建物	0 件
機械設備の新・増設	3 件
機械・設備の更改	5 件
事務機器	0 件
車両	0 件
その他	0 件

今期(8年7～9月)は6社(33.3%)が設備投資を実施しており、前年同期比で横ばいでした。
来期(8年10～12月)に設備投資を計画している企業は7社(38.8%)となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位)

※複数回答

経営上の問題点

1位	原材料高	11 社
2位	人件費の増加	9 社
3位	人手不足	6 社

当面の重点経営施策

1位	経費を節減する	8 社
2位	販路を広げる、人材確保	
	機械化を推進	6 社

卸売業

(令和8年7～9月期)

調査企業 7社
回答企業 7社
回答率 100%

業況は横ばい、10～12月期は大幅改善を予想

今期の実績 (令和8年7～9月期)

業況判断DIは▲43となり前期比および前年同期比で横ばいでした。
売上額判断DIは43となり前期比43ポイント改善、収益判断DIが29となり前期比29ポイント改善しました。
また、販売価格判断DIは43となり前期比横ばい、仕入価格判断DIが29となり前期比14ポイント低下しました。

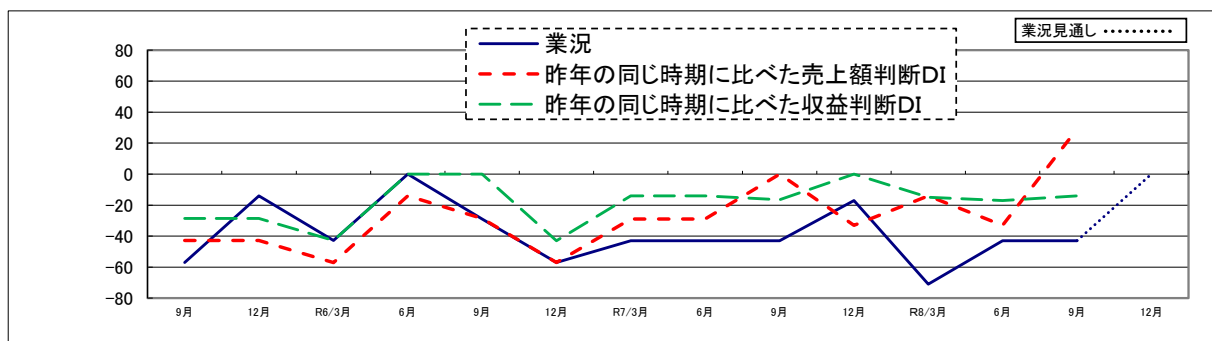
来期の見通し(令和8年10～12月期)

業況判断見通しDIは0となり今期実績比43ポイント改善する見通しです。
売上額判断見通しDIは14となり今期実績比29ポイント悪化、収益判断見通しDIが29となり今期実績比横ばいとなる予想です。
また、販売価格判断見通しDIは14となり今期実績比29ポイント低下、仕入価格判断見通しDIも14となり今期実績比15ポイント低下する見込みです。

DI値

	R7/7～9月 前年同期	R7/10～12月	R8/1～3月	R8/4～6月 前期実績	R8/7～9月 今期実績	前期比	前年同期比	R8/10～12月 来期見通し	今期比
業況	▲43	▲17	▲71	▲43	▲43	0	0	0	43
売上額	14	33	▲71	0	43	43	29	14	▲29
収益	43	33	▲72	0	29	29	▲14	29	0
販売価格	72	67	43	43	43	0	▲29	14	▲29
仕入価格	43	67	29	43	29	▲14	▲14	14	▲15
在庫	▲14	17	▲14	14	43	29	57	14	▲29
資金繰り	▲29	▲33	0	14	▲14	▲28	15	▲14	0
残業時間	33	0	33	0	17	17	▲16	17	0
人手	▲33	▲40	▲29	▲17	▲33	▲16	0	▲50	▲17
現在設備	▲14	▲33	▲29	0	▲29	▲29	▲15	▲29	0

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向

※複数回答

設備投資実績内訳(8年7～9月)

事業用土地・建物	0件
機械設備の新・増設	0件
機械・設備の更改	0件
事務機器	1件
車両	0件
その他	0件

設備投資計画内訳(8年10～12月)

事業用土地・建物	0件
機械設備の新・増設	1件
機械・設備の更改	0件
事務機器	0件
車両	0件
その他	1件

今期(8年7～9月)は3社(42.8%)が設備投資を実施しており、前年同期比で横ばいでした。
来期(8年10～12月)に設備投資を計画している企業は4社(57.1%)となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位)

※複数回答

経営上の問題点

1位	売上の停滞・減少	5社
2位	同業者間の競争の激化	3社
3位	取引先の減少、為替レートの変動	2社

当面の重点経営施策

1位	経費を節減する	5社
1位	情報力を強化する	5社
3位	販路を広げる	3社

小売業

(令和8年7～9月期)

調査企業 26社
回答企業 25社
回答率 96%

業況は改善、10～12月期は悪化を予想

今期の実績 (令和8年7～9月期)

業況判断DIは▲16となり前期比15ポイント改善、前年同期比では26ポイント改善となりました。
売上額判断DIは▲8となり前期比20ポイント悪化、収益判断DIが▲20となり前期比12ポイント悪化しました。
また、販売価格判断DIは44となり前期比21ポイント低下、仕入価格判断DIが60となり前期比29ポイント低下しました。

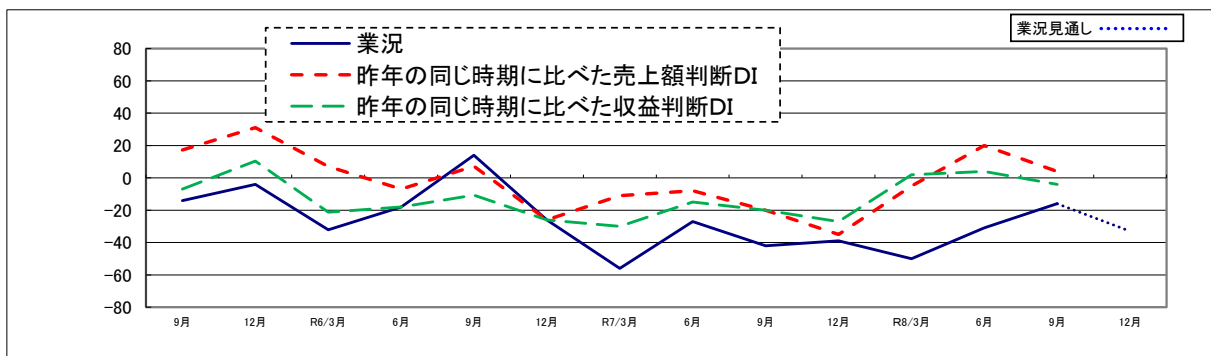
来期の見通し(令和8年10～12月期)

業況判断の見通しDIは▲33となり今期実績比17ポイント悪化の見通しです。
売上額判断見通しDIは▲28となり今期実績比20ポイント悪化、収益判断見通しDIが▲28となり今期実績比8ポイント悪化となる予想です。
また、販売価格判断見通しDIは48となり今期実績比4ポイント上昇、仕入価格判断見通しDIが64となり今期実績比4ポイント上昇する見込みです。

DI値

	R7/7～9月 前年同期	R7/10～12月	R8/1～3月	R8/4～6月 前期実績	R8/7～9月 今期実績	前期比	前年同期比	R8/10～12月 来期見通し	今期比
業況	▲42	▲39	▲50	▲31	▲16	15	26	▲33	▲17
売上額	▲12	▲4	▲35	12	▲8	▲20	4	▲28	▲20
収益	▲16	▲4	▲35	▲8	▲20	▲12	▲4	▲28	▲8
販売価格	32	23	12	65	44	▲21	12	48	4
仕入価格	64	50	46	89	60	▲29	▲4	64	4
在庫	0	▲8	0	▲4	8	12	8	8	0
資金繰り	▲4	▲4	▲8	0	▲4	▲4	0	▲16	▲12
残業時間	▲8	▲15	▲4	4	▲8	▲12	0	▲16	▲8
人手	▲40	▲23	▲31	▲50	▲44	6	▲4	▲44	0
現在設備	▲4	▲12	▲12	▲12	▲16	▲4	▲12	▲16	0

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向

※複数回答

設備投資実績内訳(8年7～9月)

事業用土地・建物	1件
事務機器	0件
車両	2件
その他	2件

設備投資計画内訳(8年10～12月)

事業用土地・建物	0件
事務機器	0件
車両	1件
その他	1件

今期(8年7～9月)は、8社(32.0%)が設備投資を実施しており、前年同期比で3社上回りました。
来期(8年10～12月)に設備投資を計画している企業は6社(24.0%)となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位)

※複数回答

経営上の問題点

1位	売上の停滞・減少	12社
2位	商圏人口の減少	9社
3位	人手不足	8社

当面の重点経営施策

1位	経費を節減する	14社
2位	人材を確保する	11社
3位	品揃えを改善する、売れ筋商品を取扱う	6社

サービス業

(令和8年7～9月期)

調査企業 16社
回答企業 16社
回答率 100%

業況は変わらず、10～12月期も横ばいの予想

今期の実績 (令和8年7～9月期)

業況判断DIは6となり前期比6ポイント改善、前年同期比19ポイント改善しました。
売上額判断DIは25となり前期比31ポイント改善、収益判断DIが13となり前期比26ポイント改善しました。
また、料金価格判断DIは47となり前期比16ポイント低下、材料価格判断DIが75となり前期比19ポイント低下しました。

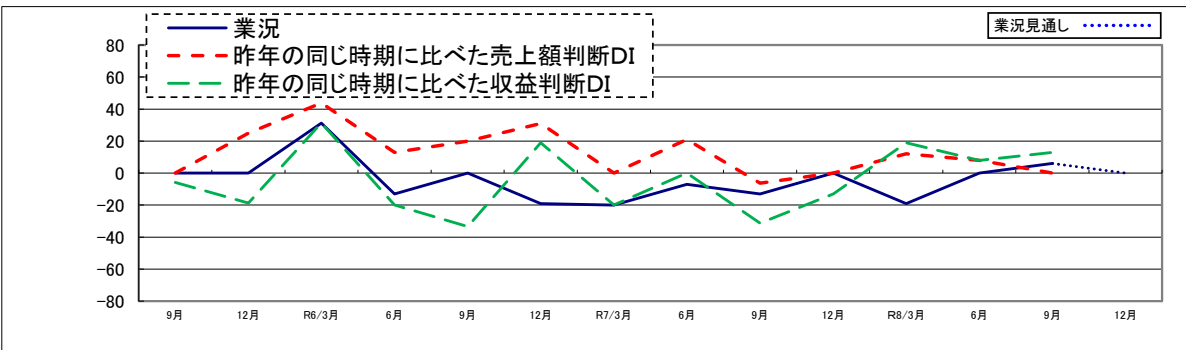
来期の見通し(令和8年10～12月期)

業況判断の見通しDIは0となり今期実績比6ポイント悪化の見通しです。
売上額判断見通しDIは50となり今期実績比25ポイント改善、収益判断見通しDIが31となり今期実績比18ポイント改善となる予想です。
また、料金価格判断見通しDIは33となり今期実績比14ポイント低下、材料価格判断見通しDIは50となり今期実績比25ポイント低下する見込みです。

DI値

	R7/7～9月 前年同期	R7/10～12月	R8/1～3月	R8/4～6月 前期実績	R8/7～9月 今期実績	前期比	前年同期比	R8/10～12月 来期見通し	今期比
業況	▲13	0	▲19	0	6	6	19	0	▲6
売上額	25	▲6	▲25	▲6	25	31	0	50	25
収益	0	▲25	▲19	▲13	13	26	13	31	18
料金価格	31	25	19	63	47	▲16	16	33	▲14
材料価格	56	63	19	94	75	▲19	19	50	▲25
資金繰り	▲25	▲25	▲19	▲6	▲13	▲7	12	▲13	0
残業時間	0	0	6	▲6	6	12	6	6	0
人手	▲73	▲63	▲44	▲63	▲56	7	17	▲50	6
現在設備	▲38	▲25	▲20	▲31	▲38	▲7	0	▲44	▲6

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向

※複数回答

設備投資実績内訳(8年7～9月)

事業用土地・建物	1件
機械設備の新・増設	5件
機械・設備の更改	3件
事務機器	1件
車両	2件
その他	1件

設備投資計画内訳(8年10～12月)

事業用土地・建物	0件
機械設備の新・増設	2件
機械・設備の更改	2件
事務機器	0件
車両	1件
その他	0件

今期(8年7～9月)は、9社(56.2%)が設備投資を実施しており、前年同期比で4社上回っております。
来期(8年10～12月)に設備投資を計画している企業は5社(31.2%)となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位)

※複数回答

経営上の問題点

1位	材料価格の上昇	9社
2位	人手不足	6社
3位	売上の停滞・減少、利幅の縮小、人件費の増加	5社

当面の重点経営施策

1位	経費を節減する	12社
2位	人材を確保する	7社
3位	技術力を強化する	6社

建設業

(令和8年7～9月期)

調査企業 38社
回答企業 38社
回答率 100%

業況は変わらず、10～12月期も横ばいを予想

今期の実績 (令和8年7～9月期)

業況判断DIは▲13となり前期比9ポイント改善、前年同期比では16ポイント悪化しました。
売上額判断DIは38となり前期比54ポイント改善、収益判断DIが11となり前期比37ポイント改善しました。
また、請負価格判断DIは19となり前期比2ポイント低下、材料価格判断DIが65となり前期比17ポイント低下しました。

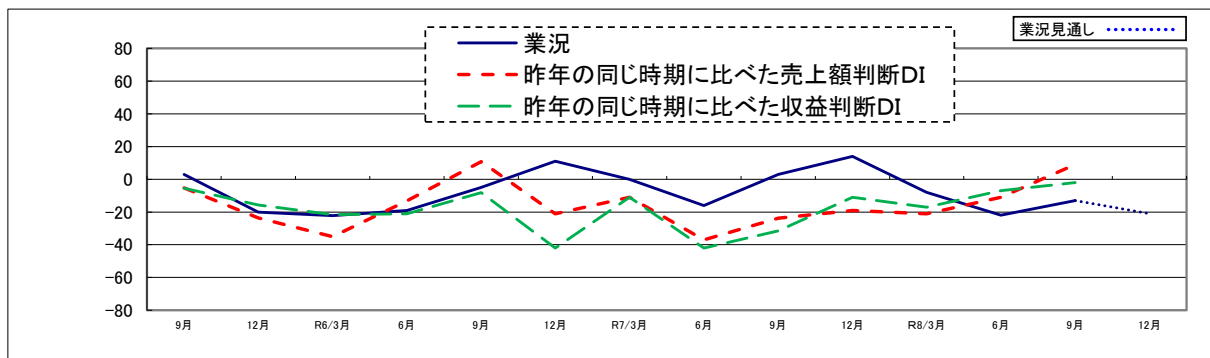
来期の見通し(令和8年10～12月期)

業況判断の見通しDIは▲21となり今期実績比8ポイント悪化する見通しです。
売上額判断見通しDIは▲31となり今期実績比69ポイント悪化、収益判断見通しDIが▲31となり今期実績比42ポイント悪化となる予想です。
また、請負価格判断見通しDIは0となり今期実績比19ポイント低下、材料価格判断見通しDIが47となり今期実績比18ポイント低下する見込みです。

DI値

	R7/7～9月 前年同期	R7/10～12月	R8/1～3月	R8/4～6月 前期実績	R8/7～9月 今期実績	前期比	前年同期比	R8/10～12月 来期見通し	今期比
業況	3	14	▲8	▲22	▲13	9	▲16	▲21	▲8
売上額	29	24	▲35	▲16	38	54	9	▲31	▲69
受注残	▲5	▲20	▲39	8	3	▲5	8	▲23	▲26
施工高	26	16	▲28	▲3	38	41	12	▲14	▲52
収益	13	22	▲25	▲26	11	37	▲2	▲31	▲42
請負価格	11	8	3	21	19	▲2	8	0	▲19
材料価格	55	38	36	82	65	▲17	10	47	▲18
在庫	0	6	9	▲20	▲6	14	▲6	▲9	▲3
資金繰り	8	0	8	▲3	▲16	▲13	▲24	▲17	▲1
残業時間	▲14	▲8	▲24	▲16	▲8	8	6	▲11	▲3
人手	▲58	▲56	▲25	▲34	▲49	▲15	9	▲60	▲11
現在設備	▲11	▲5	0	▲5	▲14	▲9	▲3	▲8	6

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向

※複数回答

設備投資実績内訳(8年7～9月)

事業用土地・建物	0 件
機械設備の新・増設	6 件
機械・設備の更改	3 件
事務機器	1 件
車両	7 件
その他	1 件

設備投資計画内訳(8年10～12月)

事業用土地・建物	1 件
機械設備の新・増設	4 件
機械・設備の更改	5 件
事務機器	1 件
車両	2 件
その他	0 件

今期(8年7～9月)は、18社(47.3%)が設備投資を実施しており、前年同期比で7社上回りました。
来期(8年10～12月)に設備投資を計画している企業は10社(26.3%)となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位)

※複数回答

経営上の問題点

1位	材料価格の上昇	24 社
2位	人手不足	22 社
3位	売上の停滞・減少	16 社

当面の重点経営施策

1位	人材を確保する	23 社
2位	経費を節減する	22 社
3位	技術力を高める	19 社

運輸業

(令和8年7～9月期)

調査企業 9社
回答企業 9社
回答率 100%

業況は若干の改善、10～12月期は改善を予想

今期の実績 (令和8年7～9月期)

業況判断DIは▲11となり前期比11ポイント改善、前年同期比では11ポイント改善しました。
売上額判断DIは33となり前期比55ポイント改善、収益判断DIが33となり前期比77ポイント改善しました。
また、料金価格判断DIは33となり前期比22ポイント上昇、材料価格判断DIが33となり前期比23ポイント低下しました。

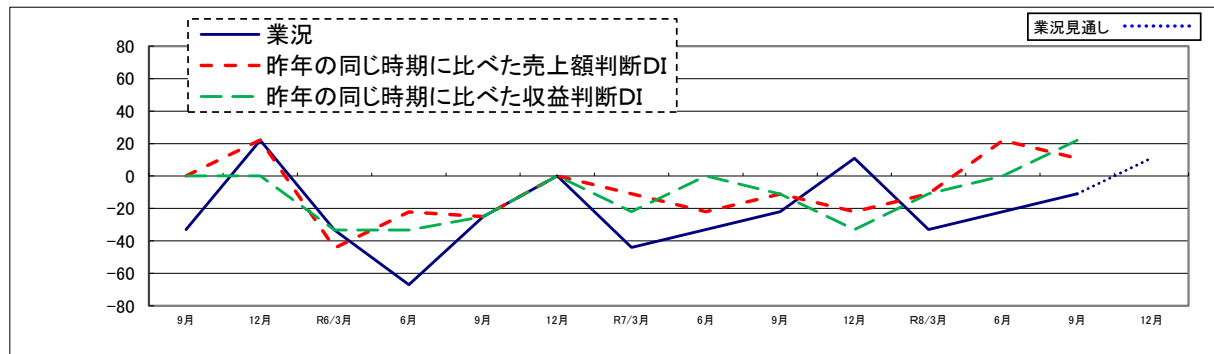
来期の見通し(令和8年10～12月期)

業況判断の見通しDIは11となり今期実績比22ポイント改善する見通しです。
売上額判断見通しDIは33となり今期実績比横ばい、収益判断見通しDIは33となり今期実績比横ばいとなる予想です。
また、料金価格判断見通しDIは0となり今期実績比33ポイント低下、材料価格判断見通しDIが44となり今期実績比11ポイント上昇する見込みです。

DI値

	R7/7～9月 前年同期	R7/10～12月	R8/1～3月	R8/4～6月 前期実績	R8/7～9月 今期実績	前期比	前年同期比	R8/10～12月 来期見通し	今期比
業況	▲22	11	▲33	▲22	▲11	11	11	11	22
売上額	22	44	▲44	▲22	33	55	11	33	0
収益	11	22	▲44	▲44	33	77	22	33	0
料金価格	0	0	0	11	33	22	33	0	▲33
材料価格	0	11	▲22	56	33	▲23	33	44	11
資金繰り	0	▲33	0	▲33	▲11	22	▲11	▲11	0
残業時間	11	44	0	▲22	11	33	0	22	11
人手	▲44	▲67	▲44	▲67	▲33	34	11	▲44	▲11
現在設備	▲11	▲33	▲22	▲22	▲11	11	0	▲22	▲11

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



設備投資動向

※複数回答

設備投資実績内訳(8年7～9月)

事業用土地・建物	0 件
機械設備の新・増設	0 件
機械・設備の更改	0 件
事務機器	0 件
車両	2 件
その他	0 件

設備投資計画内訳(8年10～12月)

事業用土地・建物	0 件
機械設備の新・増設	0 件
機械・設備の更改	1 件
事務機器	0 件
車両	0 件
その他	0 件

今期(8年7～9月)は、3社(33.3%)が設備投資を実施しており、前年同期比で2社上回りました。
来期(8年10～12月)に設備投資を計画している企業は2社(22.2%)となっています。

経営上の問題点と当面の重点経営施策(上位3位)

※複数回答

経営上の問題点

1位	材料価格の上昇	4 社
2位	売上の停滞・減少	3 社
2位	人手不足	3 社

当面の重点経営施策

1位	経費を節減する	7 社
2位	人材を確保する	4 社
3位	販路を広げる、新しい事業を始める	2 社

不動産業

(令和8年7～9月期)

調査企業 3社
回答企業 3社
回答率 100%

業況は改善、10～12月期は悪化を予想

今期の実績 (令和8年7～9月期)

業況判断DIは67となり前期比134ポイント改善、前年同期比は横ばいとなりました。
売上額判断DIは67となり前期比67ポイント改善、収益判断DIが67となり前期比100ポイント改善となりました。
また、販売価格判断DIは0となり前期比33ポイント低下、仕入価格判断DIが33となり前期比横ばいとなりました。

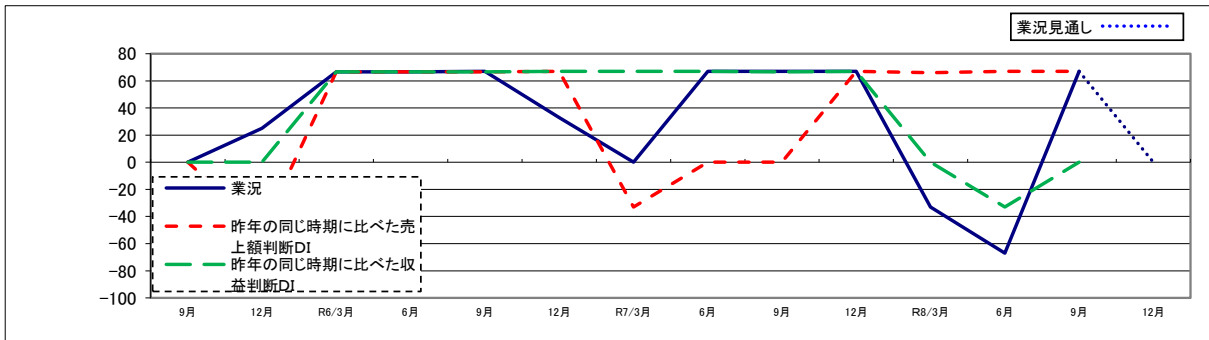
来期の見通し(令和8年10～12月期)

業況判断の見通しDIは0となり今期実績比67ポイント悪化する見通しです。
売上額判断見通しDIは▲33となり今期実績比100ポイント悪化、収益判断見通しDIが▲67となり今期実績比134ポイント悪化となる予想です。
また、販売価格判断見通しDIは33となり今期実績比33ポイント上昇、仕入価格判断見通しDIが67となり今期実績比34ポイント上昇する見込みです。

DI値

	R7/7～9月 前年同期	R7/10～12月	R8/1～3月	R8/4～6月 前期実績	R8/7～9月 今期実績	前期比	前年同期比	R8/10～12月 来期見通し	今期比
業況	67	67	▲33	▲67	67	134	0	0	▲67
売上額	0	0	33	0	67	67	67	▲33	▲100
収益	67	33	33	▲33	67	100	0	▲67	▲134
販売価格	33	33	33	33	0	▲33	▲33	33	33
仕入価格	67	67	67	33	33	0	▲34	67	34
在庫	33	0	▲33	0	100	100	67	100	0
資金繰り	0	0	0	▲33	0	33	0	0	0
残業時間	0	0	0	▲33	0	33	0	0	0
人手	▲33	0	▲67	0	▲33	▲33	0	▲33	0

業況判断DI、昨年の同じ時期に比べた売上額判断DI、昨年の同じ時期に比べた収益判断DIの推移



経営上の問題点と当面の重点経営施策 (上位3位)

※複数回答

経営上の問題点

- 1位 人手不足、大手企業との競争の激化
同業者間の競争の激化、利幅の縮小
商品物件の高騰、人件費の増加

1社

当面の重点経営施策

- 1位 販路を広げる、経費を節減する
情報力を強化する、機械化を推進する
人材を確保する、パート化を図る、労働条件を改善する

1社

特 別 調 査

中小企業における生成AIの利活用について

調 査 概 要

この調査は、中空知管内企業に対して「中小企業における生成AIの利活用について」をテーマに、同業他社及び他業態動向の情報として各企業の経営に役立てていただくことを目的に実施したものです。

■調査時点	令和8年9月
■調査地域	中空知管内(当金庫本支店所在地)
■調査方法	当金庫職員による面接聞き取り法
■調査企業	当金庫のお取引先企業

内訳	製造業	18 社	建設業	38 社
	卸売業	7 社	運輸業	9 社
	小売業	26 社	不動産業	3 社
	サービス業	16 社	計	117 社

※ただし各設問において未回答の企業があります。
※各設問の%表示は、小数第二位を四捨五入しております。

調査結果から

■生成AIの利活用について「利活用していない」が56.4%

生成AIの利活用状況は「利活用している」34.2%、「利活用していない」56.4%という結果となった。

■生成AIの利活用者は「主に経営者」が37.5%

利活用していると回答した事業者のうち主に利活用している方として、「主に経営者(個人事業主を含む)」37.5%、「全社的に利活用」35.0%、「主に従業員」27.5%の順となった。

■生成AIの用途として「文章作成」が44.0%

生成AIをどのような用途で利活用しているか、またはどのような用途での利活用に関心があるかについて、「文章作成(メール・案内文・議事録)」44.0%、「利活用しておらず関心がない」36.2%、「販促文章の作成(SNS投稿、チラシ文面等)」および「アイデア出し・経営戦略策定」14.7%の順となった。

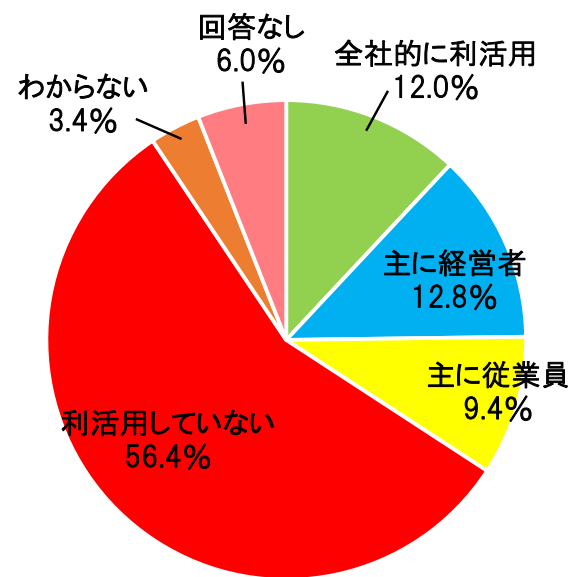
■生成AI利活用の課題または利活用しない理由として「情報漏えい・セキュリティ面の不安」が28.4%

生成AIを利活用する上での課題または利活用していない場合の理由として「情報漏えい・セキュリティ面の不安」28.4%、「特になし」22.4%、「出力内容の正確性への不安」21.6%の順となった。

問1. 貴社では、業務上で生成AIを利活用していますか？
利活用している場合は主にどのような方が使っていますか？

生成AIを「利活用していない」が56.4%

生成AIの利活用状況と主な利活用者について



※利活用していると回答した方のうち
生成AIを利用する方は

主に経営者(個人事業主を含む)	37.5%
全社的に利活用	35.0%
主に従業員	27.5%

生成AIの利活用状況と主な利活用者について

単位: 社

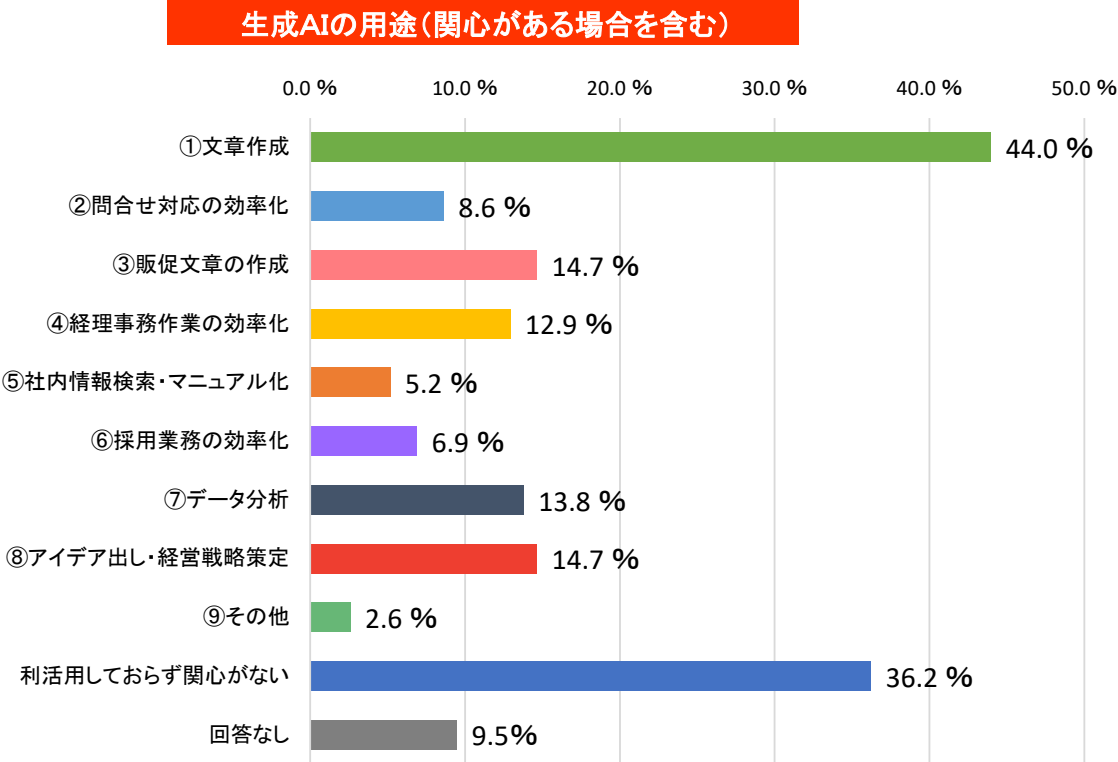
項 目	総合	製造	卸売	小売	サービス	建設	運輸	不動産
利活用している	117	18	7	26	16	38	9	3
全社的に利活用	14	2	0	5	3	3	0	1
主に経営者(個人事業主を含む)	15	3	1	2	2	4	1	2
主に従業員	11	1	0	3	2	5	0	0
利活用していない	66	9	4	14	8	24	7	0
わからない	4	1	1	1	1	0	0	0
回答なし	7	2	1	1	0	2	1	0

生成AIの利活用状況は「利活用している」34.2%、「利活用していない」56.4%という結果となった。

利活用していると回答した事業者のうち主に利活用している方として、「主に経営者(個人事業主を含む)」37.5%、「全社的に利活用」35.0%、「主に従業員」27.5%の順となった。

問2. 貴社では、業務上で生成AIをどのような用途で利活用していますか？
また、現時点で利活用していない場合は、どのような用途での利活用に関心がありますか？

生成AIの用途は「文章作成」が44.0%



生成AIの用途(関心がある場合を含む)

単位:社

項 目	総合	製造	卸売	小売	サービス	建設	運輸	不動産
①文章作成	51	8	3	12	5	19	1	3
②問合せ対応の効率化	10	3	0	3	1	2	0	1
③販促文章の作成	17	3	1	7	3	2	0	1
④経理事務作業の効率化	15	1	0	1	2	9	1	1
⑤社内情報検索・マニュアル化	6	0	0	0	1	3	0	2
⑥採用業務の効率化	8	4	0	1	0	3	0	0
⑦データ分析	16	2	1	2	4	5	1	1
⑧アイデア出し・経営戦略策定	17	3	1	5	5	3	0	0
⑨その他	3	0	0	0	1	2	0	0
利活用しておらず関心がない	42	5	2	11	6	12	6	0
回答なし	11	3	2	1	0	4	1	0
合計	196	32	10	43	28	64	10	9

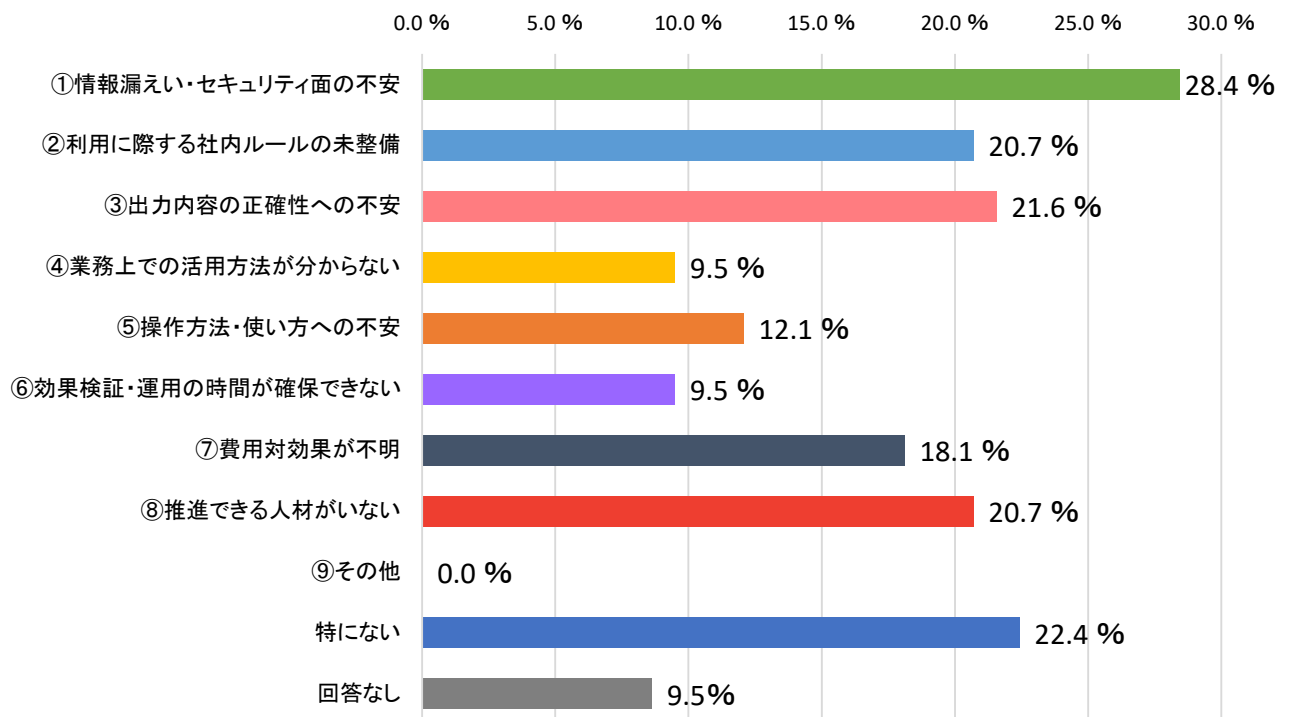
(3つまで複数回答可)

生成AIをどのような用途で利活用しているか、またはどのような用途での利活用に関心があるかについて、「文章作成(メール・案内文・議事録)」44.0%、「利活用しておらず関心がない」36.2%、「販促文章の作成(SNS投稿、チラシ文面等)」および「アイデア出し・経営戦略策定」14.7%の順となった。

問3. 貴社が生成AIを業務で利活用する上で、課題となる点は何ですか？
もし現時点で利活用していない場合は、その理由は何ですか？

「情報漏えい・セキュリティ面の不安」が28.4%

生成AI利活用の課題または利活用しない理由について



生成AI利活用の課題または利活用しない理由について

単位:社

項 目	総合	製造	卸売	小売	サービス	建設	運輸	不動産
①情報漏えい・セキュリティ面の不安	33	6	2	4	5	14	1	1
②利用に際する社内ルールの未整備	24	5	2	5	3	8	0	1
③出力内容の正確性への不安	25	5	1	4	5	6	2	2
④業務上での活用方法が分からない	11	1	2	0	2	4	1	1
⑤操作方法・使い方への不安	14	2	0	4	2	4	2	0
⑥効果検証・運用の時間が確保できない	11	4	0	5	0	2	0	0
⑦費用対効果が不明	21	3	1	4	4	6	3	0
⑧推進できる人材がいない	24	4	2	3	3	10	2	0
⑨その他	0	0	0	0	0	0	0	0
特になし	26	1	0	6	6	9	4	0
回答なし	10	3	1	1	0	4	1	0
合計	199	34	11	36	30	67	16	5

(3つまで複数回答可)

生成AIを利活用する上での課題または利活用していない場合の理由として「情報漏えい・セキュリティ面の不安」28.4%、「特になし」22.4%、「出力内容の正確性への不安」21.6%の順となった。

北門信用金庫 総務部(広報)

北海道滝川市栄町3丁目3番4号

TEL (0125)22-1185 (直通)

<https://www.shinkin.co.jp/hokumon/>